



大山町長
森田 増 範

謹賀新年

あけましておめでとうございます。

皆さまには、お元気で初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年も全国各地に集中豪雨・竜巻などが発生しました。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

一昨年12月の政権交代により安倍政権が誕生し、成長戦略・税と社会保障制度の一体改革による消費税8%の実施、新しい農政への変革、国保や子育て支援制度の検討・推進等、その取り組みがスピード感をもって進んでいます。地方自治を預かる者として、これらの取り組みに対し、正しい情報を得ながら要望・意見を届け、また実施へ向けて的確に対応してまいります。

昨年12月21日には、念願の「山陰道町内全線開通」が実現しました。地権者をはじめ関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。こ

れにより、中山から大山を結ぶ町内移動がスムーズになり、一体感あるまちづくりが一層進めるものと思います。

また、中山・名和・大山の3インターチェンジ付近には、子育て支援の拠点として保育園を建設し、今春4月には「名和さくらの丘保育園」が開園します。これらの保育園を中心とした各インターチェンジエリアで、それぞれの特色を活かした地域づくりを今後進めてまいります。

今年、新大山町誕生10年目を迎えます。これまで取り組んできた「大山の恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓くまちづくり」によるさまざまな事業、また、活発化してきた老若男女の交流活動や地域づくり活動。これらを土台とし、さらなる住民参画による新たなまちづくりへ、「未来づくり10年プラン」の策定と実践へ向け、取り組みを本格化させます。

一つ一つ土を耕し、種をまき、育むように、引き続き住民の皆さまと官民一体となつて「大山の恵み」という魅力的な豊かな資源・財産（人財・自然・産業・歴史・文化）を活かし、皆が安心して暮らせる、そして若者が住み続けたいにぎわいのある元気な大山町を目指し、諸施策を実施してまいります。町民の皆さまのより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

皆さまにとりまして、幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。